



【地元企業の技術者等による「匠の技継承講座」I（1回目）】

《目的》

地元造船会社の熟練技能者等による実技指導を通じて、社会で働く方々の技能の高さを実感するとともに、仕事に取り組む姿勢などを学ぶ。

《実施内容》

ガス切断の実技指導

《講師》

尾鷹 正三 様 今治造船株式会社
矢原 輝夫 様 株式会社新来島どつく

《取組》

- 日 時 平成29年7月10日(月) 13:50～
- 場 所 今治工業高等学校 機械造船科実習棟
- 対 象 機械造船科1年生 1班 9名
- 内 容 ・ガス切断の作業要領等の説明・講師実演
・ガス切断の実技指導



《講師の先生の助言》

- ・基本が最も大切。しっかりと基本を身に付けた上で経験を重ねることにより、確実に技能を高めることができる。
- ・高圧酸素を出した状態でトーチを人に向ける様なことは絶対しないこと。

《生徒の感想・学んだこと》

- ・職人の方々のすごい技術があって船ができるということが分かりました。
- ・ガス切断をするときの姿勢や角度、速さなど、細かい所まで教えていただいたおかげで、技能が向上したことを実感することができました。
- ・より実践的なことを教えていただけたので、とても良かったです。
- ・自分は将来、ガス切断をすると思うので、しっかりと頑張っていきたい。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

まずは安全教育を行うことが大切。保護具の装着にはじまり、ガス切断の作業手順やガス漏れのチェック方法等、しっかりと身に付けることが必要。

《成果・今後の課題》

今回の取組をとおして、安全教育の大切さ、基本的な技術・技能を身に付けることの重要性を改めて実感しました。今後は「安全」「基本」に対する意識を高く持ち、技能向上に努めていきたいと思えます。

